

Webで提案 令和2年11月20日(金)より公開



第11期教育課程開発研究 (2年次)

自分をつくり未来を拓く子どもが育つ学校

子どもの「問い」が立ちあがる教育活動の追求

# 子どもの「問い」が立ちあがる

一年二組の子どもは、六月に四頭のヒツジと出あいました。実践道徳「柵について」では、自分たちがヒツジとかかわりながらつくってきた柵を無くしてもよいかについて話し合いました。「柵は無くしてもいい」「柵は無くしちゃいけない」それぞれが考える理由を語り合う中、陽介さんは「柵がある方が自由だと思う」と話しました。柵がヒツジの自由を奪っていると考えのではなく、柵を無くすことで杭とリードでヒツジをつなぐ時間が増え、自由を奪ってしまうと考えたのです。これまでのヒツジとのかかわりから「ヒツジにとっての自由とは何か」と自らに疑問を投げかけながら創造的に思考し、柵の意味や価値にまで考えをひろげたこの過程に、子どもの「問い」が立ちあがる姿があるのです。



Webで当校の研究発表の動画、活動案やレポートが閲覧できます。ぜひ、ご覧ください。

<https://element.juen.ac.jp/>



**研究発表** 2020年研究の概要を動画で説明します。

研究主任：岡田 啓吾

**実践提案** 子どもの「問い」が立ちあがる教育活動を活動案とレポートで提案します。

教育活動	「活動名」	学年	提案者
創造活動	「はなやぎまきば」	1年1組	1年1組担任 丸山 大貴
創造活動	「ほっとウッドクラフト」	4年2組	4年2組担任 高山 史
創造活動	「世界とともに」	6年2組	6年2組担任 平井 恵理
実践国語科	「めいく五・七・五」	2年1組	2年1組担任 笠井 悠
実践国語科	「絵から生まれる物語」	3年2組	3年2組担任 倉又 圭佑
実践社会科	「紙幣で見る近現代」	6年1組	6年1組担任 五十嵐徳也
実践算数科	「くっきりボックス」	2年2組	2年2組担任 笠井 将人
実践理科	「溶け方のかかく」	5年2組	5年2組担任 岡田 啓吾
実践音楽科	「サウンドロゴ8」	6年1組	音楽専科 渡辺奈穂子
実践家庭科	「わが家の防災生活」	6年1組	指導教諭 大岩 恭子
実践体育科	「アラウンドベースボール」	6年2組	主幹教諭 二上 昌基
実践外国語科	「吹き替え one scene」	5年1組	5年1組担任 丸山 考平
実践道徳	「柵について」	1年2組	1年2組担任 風間 寛之
実践道徳	「スポーツで大切にしたいこと」	3年1組	3年1組担任 齋藤 晃
実践道徳	「ルールの意味」	4年1組	4年1組担任 倉井伸太郎
集団活動	「ポプライベント」	全 校	集団部主任 平井 恵理
健康教育	「ズームアップ Eye」	5年2組	養護教諭 古川 美香

お問い合わせ先 上越教育大学附属小学校 TEL.025-523-3610  
担当：研究主任 岡田 啓吾

